



令和8年度第2回県西地区保健医療福祉推進会議 資料6

報告：令和8年度第1回病床機能分化・連携WG 結果概要

神奈川県小田原保健福祉事務所

目次

本資料では、令和8年度第1回県西地域保健医療福祉推進会議病床機能分化・連携ワーキンググループの結果概要について、ご報告いたします。

1. 開催概要

2. いただいた主なご意見（要旨）

※意見については事務局の責任において取りまとめ

1. 開催概要

開催日 令和8年8月4日（火）

参加者 53名（医療機関、医師会、保健福祉事務所、地域医療介護連携関係者、市町）

議題等

- （1）「2025年に向けた対応方針」及び「公的医療機関等2025プラン」の状況について
- （2）県が設置した「県立病院機能のあり方検討会」検討結果について（情報提供）
- （3）新たな地域医療構想について
- （4）病床数適正化緊急支援事業の申請に伴う協議について
- （5）神奈川県保健医療計画（医師確保計画）の見直し及び医師偏在是正に向けた総合的な対策パッケージの今後の取組（医師偏在是正プラン等）について

2. いただいた主なご意見（要旨）

（2）県が設置した「県立病院機能のあり方検討会」検討結果について

- 足柄上病院の病床数の見直しについては、医療従事者の確保、病床稼働率を総合的に判断して、今の医療提供体制が維持できるよう病床数を決めていただきたい。
- 医療機関をめぐる環境が非常に厳しく、持続させることが難しくなっているなかで、ある程度の見直しが必要になっているが、時間をかけて、地域の方々の理解を得るよう進めていただきたい。
- 足柄上病院には、引き続き、小田原市立総合医療センターと一体となって県西地域での基幹的役割を果たしていただきたい。

2. いただいた主なご意見（要旨）

（5）神奈川県保健医療計画（医師確保計画）の見直し及び医師偏在是正に向けた総合的な対策パッケージの今後の取組（医師偏在プラン等）について

- 診療所の支援について、これまで申請がないということだが、半径4km以内に医療機関がないこと、という要件や、診療科を考慮していないことなど、支援対象の選定ルールが現実的ではない。
- 小児科のないところに小児科の診療所を作ったとしても、将来的にその診療所が成り立つかという現実的ではない。診療所には、承継の問題、住民偏在の問題、働き方改革で大学病院を含む病院からの医師派遣が少なくなっているという問題もある。県には、こうした点を上手く補填する提案を考えていただきたい。

説明は以上です。